

名張市立病院だより きらり

No. 6

発行/名張市立病院 〒518-0481 三重県名張市百合が丘西1-178
☎0595-61-1100 (代表) ☎0595-64-7999 http://www.city.nabari.mie.jp/hospital hp-keiei@city.nabari.mie.jp



赤目四十八滝に入って初めての大きな滝が不動滝です。この写真は不動滝の上から撮影しました。滝つぼに落ちる水が飛散して、周囲の空気までも浄化しています。真夏の木々の緑までもが透明感のある輝きを放っています。そんな素晴らしい空間が私たちの近くにあります。ちょっと時間があいたら、この夏も散歩気分ですずなてみませんか。そして、おもいきり深呼吸してみてください。(写真・文:「きらり」編集委員[市民ボランティア]:五師文平さん(名張市百合が丘在住))

ナースデーイベントから

当院の救急外来は、年間9000人以上のかたが受診されています。その対応に、休日や夜間は当直医師2人、医療技師(薬剤師・検査技師・放射線技師が各1人)、事務職のほか看護師2、3人が交代で勤務しています。医師は日常の勤務である外来診療、検査、手術、入院患者さまへの治療を行い、救急患者さまにも対応し、夜間当直も続けて行うときは1日半以上の連続勤務ともなります。

看護師も同様に15人の外来・手術室勤務スタッフが日勤業務を行いながら救急外来にも対応し、交代で当直に当たり、多忙な日々を過ごしています。救急外来には多くの患者さまが来られますが、重症患者さまが搬送された際には救命的治療優先で対応しますので、より軽症の患者さまには長時間待っていたり、来られた患者さまの重症度、緊急性を見極め、治療手順を決めねばならず、一時も気が抜けない現場です。全ての救急を受け入れている

現状です。場合によっては患者さまの死と直面することもあり、一看護師として私自身0歳から102歳までの多くの患者さまの死に立ち会ってきました。その一方で数週間前からの症状で救急性の無いかたも多く来院されています。それでも患者さまの心配や症状を緩和してほしいという思いを受けつつ、当直室で仮眠中の医師・技師たちのオーバーワークを心配しつつ、皆を叩き起こし、全員で一杯頑張っただけで対応させていたただいている毎日です。夜も明け、当直勤務終了の時刻になるとようやく「ほつ」とします。まる一晩の当直勤務明け後、さらに翌日の外来診療な

きらりな人



事務局 医事相談室副主幹 上島 一雄

昨年4月に福祉事務所から市立病院に異動となり、医事相談を担当して早や1年4ヶ月が過ぎました。まだまだ医療従事者としての経験も浅く、ベテランの診療部や看護部の職員の方々にアドバイスをいただきながら日々忙しく病院内を走り回っています。最近特に感じることは、社会的

にも問題になっている無保険、無年金のために、退院後の生活や医療費の支払いに困り、身体だけでなく精神的にも病んでいる患者さまや家族のかたが多いということです。福祉事務所では生活保護(ケースワーカー)を担当していましたが、生活相談に来るかただけがそのような生活環境にあるのかと思っていました。病院内勤務して多くの患者さまが同じように悩まれていることを知りました。これからも相談者の立場になり、親しまれ信頼いただける病院職員を目指したいと思っています。

頼りになる存在です。理由は①外来・病棟を問わず、問題が発生したとき、いやな顔ひとつせず、現場に駆けつけてくれるお助けマンです。②患者さまの大きな病院への救急搬送・転院などの窓口となり、時には早朝、時には休日でも適確に対応してくれます。(看護部より) 水戸黄門様もびっくりの、まるで悪代官のような豪快な笑い声。私たちスタッフが困った時に一番頼りになります。病院の仕事は昼夜問わず突発的に起きる諸問題が多いのですが、疲れを見せない上島さんのタフな姿が職員を奮起させてくれます。(窓口事務スタッフより)



どに向かう医師に心から「お疲れさまでした」とあいさつし、私たちの救急外来当直が終わります。(外来主任 福田敬乃) 写真前列右

診療室からの実況中継

診療に関するお問い合わせ

名張市立病院医事相談室まで

☎0595-611100 (内線2158)

小児の熱性けいれんについて



診療部長兼小児科部長 須藤 博 明

このたび4月から名張市立病院小児科に勤務することになりました。今まで大阪で小児の救急病院に勤務していた経験を生かして、早く救急病院としての機能を回復していくつもりです。名張市立病院に来て、当院に医師の数が少ないことに驚いています。早く救急にも入院にも対応していきたいのですが、医師を確保して十分な医療を提供できる体制ができるまで今しばらく待つていただくことになりました。きちんとした体制を整えてから、再開することが患者さまの安全に繋がりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

さて、小児の救急搬送で多いものにけいれん(ひきつけ)があります。けいれんは医療従事者でも見ているのは珍しいものです。お母さん、お父さんなら命に危険があるかもしれないと思われれるでしょう。小児のけいれんの中で最も多いのが熱性けいれんです。10人に1人は経験があるほどです。急につばつて全身をかくがく振るわせ、白目をむいたり泡を吹いて顔色も悪くなります。そして多くの場合、体温が38℃以上に上がります。けいれんは長く感じられても2〜3分で止まることほとんどです。このことで脳に障害が残ることはありません。このけいれんのときに気をつけていただきたいことは、あわてて口に割り箸やタオルを入れないようにすることです。舌を噛んでも死にません。逆に舌が押し込まれて窒息してしまいます。ただ、嘔吐がみられることがあるので、このときは吐物を喉に詰めないように体



と顔を横にしましょう。それと体を揺すったりして刺激を与えないようにしましょう。救急車を呼ぶのは熱がなくてけいれんがみられたとき、24時間以内に2回以上けいれんがみられたとき、けいれんが10分以上続くとき、けいれん後に意識が1時間以上戻らないときです。これらのときはすぐに医療機関を受診しましょう。

それから最近話題になっているのが、「テオフィリン」という喘息の薬や、抗ヒスタミン薬とけいれんの関係です。これらの薬を服用しているとけいれんが起こりやすくなるので、特に乳幼児でけいれんの既往のあるお子さんは主治医の先生に相談して代わりの薬を考えてもらいましょう。



研修医を紹介します

昨今の医療情勢は高齢化社会を迎え、慢性疾患の症例が多くなり、一つの分野だけで対応することが難しく状況になっています。しかしながら、今まで医師は医師免許を取得した後に、大病院などで将来目指す専門科での臨床研修を受けていたため、専門教育に偏りがちで総合的な臨床能力を修得する機会が極めて乏しいものでした。

このため、これまでの臨床研修を抜本的に改め、医師として最低限必要とされる全体的な診療能力を身につけるための臨床研修を2年間受けることを義務化した新制度が平成16年4月から実施されることになりました。

この新しい研修制度は、今までのように大規模病院だけでなく地域の中小病院でも国の認可を受ければ実施できるようになり、当院も当初より医療施策への貢献や医師の確保を図るために積極的に関わることで、平成17年度から伊賀地域では初めて研修医を受け入れています。今回は、現在当院が受け入れている3人の研修医を紹介します。



近藤 誠 (関西医科大学 平成17年度 出身 研修医)

今年で2年目となり、少しだけ医療というものがわかってきた気がします。力不足ですが、頑張っています。当院を研修病院として選んだ理由は、大病院よりも小規模病院の方が、日常一般的な疾患が多く診れると思ったからです。実際に研修を受けてみると、どの科にいても熱心に教えてもらえ、研修後でも相談にのってもらえて大変良かったと思います。また、スタッフがお互いに協力し、病院を良くしていくという意気込みが伝わってきます。将来の進路は未定ですが、自分の科以外の患者さまにも適切な処置がとれるようになろうと考えています。



阪大 平成 18年度 出身 研修医 松尾 憲 秀 (大阪医科大学 平成18年度 出身 研修医)

私は、大阪医科大学出身で、学生時代はバスケットボールをしていました。当院は、実家に近く、大病院での研修のように雑用で一日が終わるといいうことは無いと聞いたので、研修病院として選びました。実際に研修を受けてみて、日々新しい知識が身についてきているかと思っています。また、アットホームな雰囲気、患者さま第一の病院だと思います。2年間と短い期間ではありますが、色々な領域を診られるように努力したいと思っています。



滋賀 孝 (滋賀医科大学 平成18年度 出身 研修医)

私は京都出身で、今年の3月に滋賀医科大学を卒業しました。大学ではソフトボール部に所属していました。当院は、実家の京都から近く、大阪にも近く、開院してから10年程のきれいな病院であり、自分の将来希望する科を自由選択で選べるので研修病院として選びました。指導してくれる先生は話しやすく、面倒見もよく、尊敬できる先生ばかりで、ここに来てよかったです。また、救急の当直の研修もハラハラドキドキしながら、勉強させてもらっています。ここでの2年間の研修を有意義なものにして、医師として早く立ち立ちできるように頑張りたいと思っています。

新人ナースのひとこと



Q 市立病院で働くことと思った理由はなんですか？

A 地元の病院で働き、自分を育ててくれた地域の人たち

Q 仕事を始めて1番うれしかったことはなんですか？

A 患者さまの「看護師さん、ありがとうございます。」のお言葉と、

Q 市立病院のいいところはどんなところですか？

A 医師も看護師もみんな優しいです。

Q 患者さまとの心に残る思い出を教えてください。

A 今はもう亡くなられた患者さまが呼吸も苦しそうなのに「また来てな」と笑顔を見せてくれたこと。

Q 仕事を始めて1番辛かったことはなんですか？

A 患者さまの死をこ家族のかたがなかなか受け入れられず、患者さまの名前を呼び続ける場面に立ち会ったとき。

Q 「看護師さん」と呼ばれることがうれしかった。

患者さまから「今日はアタカうれしいわ」と言われたこと。お給料をもらえたとき。

患者さま用伝言板を設置しました。

7月下旬より、正面玄関と救急外来横の入り口に、【患者さま用伝言板】を設置しました。ご来院の皆さんの連絡手段として、ぜひご利用ください。(記載された内容は、翌日朝には消させていただきます。)

Q 新薬を開発するには莫大な経費が必要で、その費用がかかる一因が治験と呼ばれるものです。治験とは、開発した薬を実際に患者さまに使用して、有効性と安全性を確認する試験です。この試験で厚生労働省が医療用医薬品として承認されます。

Q 後発品はジェネリック(医薬品)とも呼ばれています。「効き目は同じで、3〜8割の価格」と言え、後発品メーカーのCMは印象的です。しかし、治験をしていないので、臨床効果の同等性は確認できません。同じ成分の先発品と後発品で、適応症(厚生労働省が認め

コメディカル ほんとういん

Q 最近テレビでよく聞く、ジェネリック医薬品ってなんですか？

の有用性を承認すると新薬になります。新薬を開発したメーカーは、特許権で新薬を独占的に販売できます。特許期間を過ぎると、新薬は先発(医薬品)品と呼ばれます。

一方、先発品との同等性を、厚生労働省が認めた医療用医薬品が、後発(医薬品)品です。健康な人を対象にして、薬の成分が体に広がる速さと量を比較し、同等性があるかどうかを判断します。その結果が先発品の一定範囲内であれば、後発品として承認されます。

後発品はジェネリック(医薬品)とも呼ばれています。「効き目は同じで、3〜8割の価格」と言え、後発品メーカーのCMは印象的です。しかし、治験をしていないので、臨床効果の同等性は確認できません。同じ成分の先発品と後発品で、適応症(厚生労働省が認め

これらの課題はありますが、後発品はお薬代を節約できます。個々の患者さまで節約に差はありますが、すべての先発品を後発品に切り替えると、年間約1兆円の節約になるとの試算もあります。今後、薬価(薬の公定価格)や医療保険制度の中で、後発品の存在は増大すると思います。

厚生労働省は後発品の使用を促進しています。今年4月、医師が認めれば、保険薬局で先発品から後発品に変更できる様式に、処方箋が変わりました。医療機関ではオーダーリングの変更や、後発品に変更された調剤結果を把握できる体制作りが急務となりました。市立病院では対応したシステムが稼働しています。後発品を希望されるかたは診察の際に、医師にお伝えください。

(薬局主任 山本順平)

AED(自動体外式除細動器)の設置について

市立病院の1階廊下(透析室前)に、AEDとかがれた器械が置いてあるのをご存知でしょうか。

AEDは自動体外式除細動器と呼ばれるもので、心臓の心室が小刻みに震え、全身に血液を送ることができなくなる心室細動などに陥ったときに、心臓に電気ショックを与えて、正常な状態に戻す機器です。心臓停止後、除細動(電気ショックを与えること)が1分遅れるごとに7%~10%生存率が減少するといわれています。そのため平成16年7月から、医師や救急救命士以外の一般のかたでも救命のためであれば使用でき



< 基本理念 >

市民の皆さまに親しまれ信頼される病院を目指します。

< 基本方針 >

- ・患者さまの権利を尊重し、理解と納得に基づく良質で安心できる医療を行います。
- ・地域の診療所、病院と連携して、地域医療、救急医療の充実に努めます。
- ・地域に開かれた病院を目指し、ボランティア、学生などを進んで受け入れ、市民との交流を深めます。
- ・公共性と経済性を考慮した健全な病院経営に努めます。
- ・初心を忘れず、日々研鑽し、働きがいのある明るい病院を創造するよう努めます。

るようになり、公共の場などで設置が広がっています。当院でも平成17年7月より1階透析室前、中央処置室、3階ナースステーション、4階ナースステーションに計4台のAEDを設置しています。救急で運ばれた患者さまや、入院患者さまが心停止に陥った場合は、医師が本格的に電気ショックを与えることとなりますが、廊下で急に倒れたかたに、一刻も早い救命を行えるように備えています。また、看護部では、昨年度より消防署職員と内科医師によるAEDの講習を企画し、多くの看護師が受講を終え、緊急時に対応できるような体制を整えています。

外来診療担当表

平成18年8月1日現在

| | | 月曜日 | | 火曜日 | | 水曜日 | | 木曜日 | | 金曜日 | |
|--------------|-----|--------------|--------------|------------|--------------|--------------|--------------|------------------|---------------|----------|----------|
| | | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 |
| 内科 循環器科 | 第1診 | ●山門 | 山門 | 山門 | 山門 | ●泉 | 泉 | 山門 | 山門 | 泉 | 泉 |
| | 第2診 | 倉地 | 倉地 | ●中嶋 | 中嶋 | ●田中 | | 田中 | | 黒田 | 黒田 |
| | 第3診 | ●山中猛成 | 山中猛成 | ●山中豊 | 山中豊 | 山中猛成 | 山中猛成 | ●黒田 | 黒田 | 伊藤(神経内科) | 伊藤(神経内科) |
| | 第4診 | 岡本 | | | | 岡本 | | ●岡本 | 岡本 | ●岡本 | 岡本 |
| | 第5診 | ●米田 | 米田 | 循環器科医師(*1) | 循環器科医師(*1) | 山中豊 | 山中豊 | 中嶋 | 中嶋 | ●倉地 | 倉地 |
| | 第6診 | 黒田(*5) | 黒田(*5) | | | 堅村(*7) | 堅村(*6) | 山中(*4) | | | |
| 泌尿器外来・神経内科外来 | | 金原(泌尿器科)(*4) | 金原(泌尿器科)(*4) | | | 山田(泌尿器科)(*4) | 山田(泌尿器科)(*4) | 佐々木(神経内科)(*5) | 佐々木(神経内科)(*5) | | |
| 外科 | 第1診 | 浦田 | 藤川 | 竹内 | 川本 又は 安田(*9) | 坪内 | 藤川 | 竹内 | 坪内 | 浦田 | 藤川 |
| | 第2診 | 坪内 | | 藤川 | 坪内 | 竹内 | | 浦田 | | 坪内 | |
| | 第3診 | 藤川 | | | | | | | | | |
| 脳神経外科 | 第1診 | 乾 | 乾 | 平松 | 平松 | 平松 | 平松 | 井田・乾 | 井田・乾 | 井田 | 井田 |
| 整形外科 | 第1診 | 園田 | | 西田 | | 西田 | | 長倉 | | 長倉 | |
| | 第2診 | 西田 | | 園田 | | 長倉 | | 園田 | | 西田 | |
| | 第3診 | | | | | | | | | | |
| 小児科 | 第1診 | 須藤 | 須藤(予約外来) | 須藤 | 須藤(予約外来) | 須藤 | 須藤(乳児検診) | 須藤 | 須藤(14時~16時) | 須藤 | 須藤(予約外来) |
| 眼科 | 第1診 | 川野 | (検査)(*3) | 川野 | | 川野 | (検査)(*3) | 川野(*2) 右京(*8) | | 川野 | (検査)(*3) |
| | 第2診 | 右京 | (検査)(*3) | 右京 | | 右京 | (検査)(*3) | 川野美知子 | 川野美知子 | 右京 | (検査)(*3) |

- …初診外来 (*1)…ペースメーカー外来(1,4,7,10月の第3週のみ) (*3)…外来特殊 (*4)…診察室は小児科3診 (*5)…診察室は小児科2診 (*6)…第1水曜以外 診察室は小児科2診 (*7)…第1水曜のみ。診察室は小児科2診 (*2) 第1・3・5週のみ。 (*8)…第2・4週のみ。 (*9)…第1・3週のみ、女性外来。 (*10)…診察は小児科2診

※外来診療担当表は、人事異動などにより変更になる場合があります。あらかじめ名張市立病院医事相談室 ☎0595-61-1100(内線2158)までお問い合わせください。

大雨が降ったり、ミサイルが落ちたり、子供を突き落としたり、暗い気持ちにさせられることばかり続いた。そんな中ひとつの朗報。脳卒中後遺症で高度機能障害を残したかたが見事に再就職された。同程度の障害では多くのかたが寝たきりになったり、閉じこもりがちになったりしている。しかし、このかたは常に前向きな姿勢で立ち向かわれた。そして勝ち得たのである。我々医療従事者は病氣のかたを励ますことも重要な仕事であるが、実際には逆に励まされることも多いのである。心からあめでとうと申し上げた。(K・H)

まだまだ暑い日が続きますが、こんなときは過ごしやすい秋の訪れが待ち遠しく感じられます。四季の中でも様々な冠詞がつくのが秋です。「スポーツの秋」「食欲の秋」「読書の秋」「芸術の秋」「行楽の秋」など。どの秋も楽しみたいですね。皆さんはどんな秋を「テーマ」にされますか?(T・N)

暑い夏が続いていますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。この夏は長期研修のため、10年ぶりに2カ月の学生生活、電車通学です。今後の看護に生かせるようしっかりと勉強してきます。(A・Y)



受付時間

- < 予約のないかた >
- 午前8時30分～午前11時30分
- 小児科のみ木曜日午後1時30分～午後4時00分も受付
- < 予約のあるかた >
- 午前8時00分～予約終了時刻まで

保険証などは

保険証・医療証などは、月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出ください。